

「下総玩具」創始 松本さんのぶ遺作展



素朴な土人形として知られた「下総玩具」を創始した故・松本節太郎氏(柏市根戸、昨年11月27日に101歳10カ月で死去)の「遺作展」がJR柏駅西口の高島屋柏店T館地下2階ロースクエアで28日

28日から 高島屋柏店

で柏に移住。戦後に生活の糧にと自宅裏山の白粘土を使って干支や七福神など各種の土人形を手捻りによる独特の技法で製作。自ら「下総玩具」と名付けた。58年(昭和33年)に日本郷土玩具の会の会員に推挙され、88年には東葛地区の文化功労者に贈られる「ヌーベル文化賞」の第1回受賞者となった。

今回の遺作展には同資料室の収蔵品のほか、松本さんの根戸工房に残っていた未公開の土人形など計600点が出品される。

鈴木社長は「下総玩具の集大成となる遺作展となった。この機会に堪能してほしい」と話している。問い合わせはギャラリーヌーベルの鈴木社長 ☎04・7146・6800。

【大矢武信】

から開かれる。5月9日まで。入場無料。

松本さんは、東京・下谷の染色屋の四男に生まれ、幼いころから「色彩感覚」に秀でていたという。戦災

松本さんは満100歳を迎えた03年1月に「後継者がなく下総玩具づくりも一代限り。約1000体の玩具類はすべて寄贈する」として柏市旭町4の「ギャラ



遺作展に出品される下総玩具の代表作品の一部
(ギャラリーヌーベル提供)